



NPO法人暴力防止情報スペース・APIS (アピス)

流に押され 負けそうになったとき
自分はここまでだったんだと
そう 思いたくなる
傷つくことを恐れ
すべてを 投げ出しそうになったとき
ここまででは頑張ったんだと
そう 言いかけたくなる
しかし…
すべては偽りだ
弱い自分に対する 言い訳にしかならない
人は 自由であればあるほど
その 責任は重い
そして その重荷を投げ出すときは
自由を 失う時である



17歳の10月14日の日記に書いてあった詩です。
この時、私は何を頑張っていたのか思い出せません。
出来事は記憶の彼方に埋もれてしまっても、
心に感じたことはいつまでも残っているものですね。(J.P)

Index

- とびらのうた(J.P) 1
- 巻頭言 (鈴木登喜子) 2
- APIS 報告 「プチ講座」(野中ひとみ) 3
- APIS 報告 「わい・わい・ゆるゆるトーク」(山田悦子) 4
- APIS 報告 「人権啓発に係る基礎知識」(佐々木興子) 5
- 映画の紹介 「トークバック 沈黙を破る女たち」(S・K) 5
サブプレゼンテーション
- The Presentation “APIS” (横山恵子) 6
- APIS 報告 大阪ダルク感謝祭に参加して (野中ひとみ) 7
- 活動記録 8



プチ講座 石けん作りやっています



APIS では、各スタッフが特技を生かした分野で講師となり、その他事業の枠でプチ講座を開催しています。

私はマルセイユ石けん(オリーブオイル、ココナッツオイル、パームオイルを苛性ソーダ水溶液で化学反応を起こして作る無添加の石けん)作りワークショップを担当しています。



石けん作りは、なかなか手のかかる作業で、材料の温度管理から始まって、劇物の苛性ソーダを扱うため自分や他の人に注意を払い、最低 30 分は泡立て器でしっかりしっかり混ぜるため、かなりの筋力と持続力を必要とします。そして最後の、出来上がりの石けんを想像しながらクレイを使って色付けしての型入れは、皆さん右脳が爆発する寸前で苦しみながら楽しんでおられます。

石けん作りワークショップは探すと他にも色々ありますが、私が目指すのは APIS ならではのものです。

APIS 事務所では、暴力防止に関する様々な情報を目にすることができます。

そのことで、「セクシャルハラスメントってまだあるの？」

「電話相談っていっぱいかかってくるの？」などの質問を受けたり、

「子どもがいじめにあってて・・・」

「こないだ学校でこんなことがあってね、」など子育てにまつわる話題など出ます。

参加者はスペースの問題もあり最大 5 名までです。グループでの申し込みの他、個人の申し込みもあるので初めましての方同士もおられ、少人数で 2 時間同じ作業をしながらいろんな話をします。

APIS の活動を知ってもらい、皆さんの周りで起きていることで役に立つことがあればいいなと思っています。

出来上がった牛乳パック 1 本分の石けんは約 10 個に切るのですが、ワークショップで一緒に作られた方同士、決まって 1 個ずつ交換されているのが素敵だなあいつも嬉しく思っています。
(野中ひとみ)

*写真は市内中学校 PTA の企画で学校の家庭科室で行なった石けん作りの様子

APIS 事務所での石けん作りは土曜日や平日の夕方など仕事を持つ方の都合に合わせた時間で開催しています。しっとりとした使い心地にリピーターになる方もいらっしゃいます。石けん作りに興味のある方は事務所までお問い合わせください。